

〈特集〉

7月から

水道料金

が変わります

7月に、9年ぶりとなる水道料金の改定を行います。
市民のみなさんに、その経緯と内容をお伝えします。

経緯

水道料金は原則として3年ごとに見直しを行っており、現行の水道料金は平成29年度に平均9.7%の引上げの改定を行ってから8年が経過しています。

今回の見直しは、令和8年度から令和10年度までの3年を対象としており、今後3年間の収入および支出などから検討を行いました。水道事業を取り巻く状況は厳しさを増しており、人口減少や節水機器の普及により水需要が減少して水道料金収入が減少する一方、エネルギー価格や物価高騰の影響により、動力費や修繕費、管理・保守費など水道水の供給に必要な費用が増加しているほか、老朽化が進む水道施設の更新や耐震化、再構築を進めるために多くの費用が必要となっています。水道事業は、市民のみなさんからいただく水道料金によって運営しており、将来にわたり安全で安心な水道水の安定した供給を継続するためには、水道料金の改定が必要であると判断したものです。



実際どうなるの？

料金改定シミュレーション

※水道料金のみ(下水道料金は含まれません)

実際にどのくらい変わるのかを、平均的な世帯を想定したモデルケースで示します。

口径13mm 2か月分 消費税込

4人：使用水量50m³

現行料金 6,226円



新料金 7,398円

差額 1,172円

(1日：約19円)



2人：使用水量32m³

現行料金 4,265円



新料金 4,943円

差額 678円

(1日：約11円)



単身：使用水量16m³

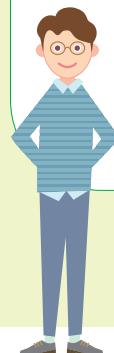
現行料金 3,370円



新料金 3,823円

差額 453円

(1日：約8円)



使用水量は目安です。同じ世帯人数でも、使用状況により水量は異なります。

水道料金改定の実際

● 概要

- 改定率 平均16.8%
- 改定期間 令和8年度から令和10年度まで(3年間)
- 改定日 令和8年7月1日
※下水道使用料は改定しません。

料金改定について、詳しく解説していきます。



● 新料金の適用時期

水道メーターの検針を2か月分ごとに行っています。
 6月30日以前から継続使用している場合は、
 検針日が、**奇数月**の地区は、令和8年 **10月請求分** (7月検針分)から、
偶数月の地区は、令和8年 **11月請求分** (8月検針分)から、**新料金が適用されます。**
 7月1日以降に使用を開始する場合は、**初回から新料金が適用されます。**

● 料金の計算方法

水道料金は、使う水の量に関係なく水道メーター(量水器)の口径に応じて決まる「**基本料金**」と、
 使う水の量に応じて決まる「**水量料金**」からなっています。

水道料金 = 基本料金 + 水量料金(水量区分ごとに計算)

岡谷市では、主に一般家庭が使用する口径13mmの件数が全体の95%を占めており、その中でも比較的使用水量が少ない使用者の負担を考慮して、料金改定率は**基本料金を10%、水量料金を25%の改定とし、平均で16.8%**とすることとしました。

● 料金表

基本料金表 2か月分 消費税込

口径	現行料金	新料金	差額
13mm	2,596円	2,855円	259円
20mm	6,138円	6,751円	613円
25mm	12,276円	13,503円	1,227円
40mm	37,884円	41,672円	3,788円
50mm	85,184円	93,702円	8,518円
75mm	239,404円	263,344円	23,940円
100mm	511,632円	562,795円	51,163円

水量料金表 1m³あたり 2か月分 消費税込

水量区分	現行料金	新料金	差額
1～30m ³	48.4円	60.5円	12.1円
31～60m ³	108.9円	136.4円	27.5円
61m ³ 以上	133.1円	166.1円	33.0円

● 料金計算イメージ

〈計算例〉
 4人世帯：口径13mm、使用水量50m³として

基本料金 ①
2,855円

水量料金 ② (1～30m³)
60.5円×30m³=1,815円

水量料金 ③ (31～60m³)
136.4円×20m³=2,728円
(=50m³−30m³)

合計 **7,398円**

例えば…



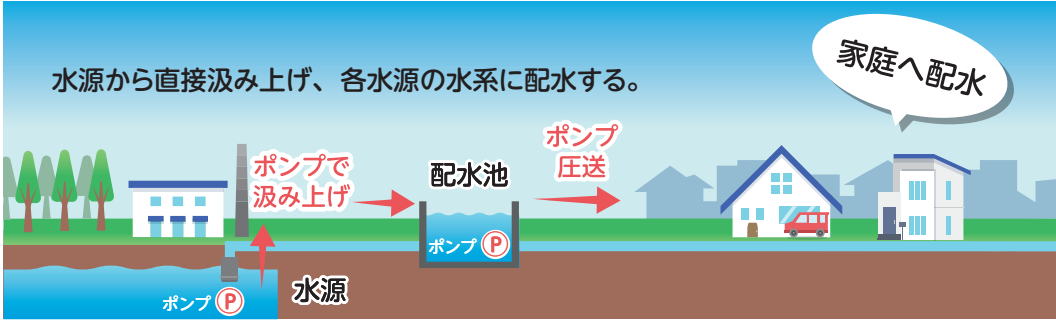
くみ

岡谷市では、市民のみなさんからお支払いいただいた水道料金を財源に、水道事業基本計画に基づいて、**①水道施設の再構築**、**②水道施設の耐震化**、**③老朽化した施設の更新**を推進しています。



〈従来の方式〉 電気ポンプ式

Before



1 水道施設の再構築

岡谷市では、計画的に配水システムの切り替えを行っています。従来の、各水源から電気ポンプで水を汲み上げて配水する「電気ポンプ式」から、高い場所に配水池を整備し、複数の水源から水を集めて自然流下によって配水する「自然流下式」に切り替えていきます。これにより、市内全域に効率良く配水できるようになり、配水ポンプにかかる電力量などが節約できます。

電気ポンプ式

デメリット

- ①多くの電力がかかる
各水源から電気ポンプを使って水を配るため、多くの電力量が必要です。
- ②災害時のリスク
各水源から直接各給水地域に水を配っているため、災害時に水源等が被害を受けると、その給水地域に水を配ることが困難になります。
- ③施設維持の費用
管理する水道施設が多くなるため維持費が増加します。



再構築に伴って整備した施設を紹介します

今井上向配水池



- 小井川配水池を更新し、より耐震性に優れた構造で配水池、管理棟を新築。
 - 補給する水源は、宗平寺、片間町、河原口、小井川浄水場の各水源となっており、有事の際でも給水可能。
- 令和4年(2022年)3月建設
配水池容量：4,800m³
配水池：耐震ステンレス構造
配水量：1日平均約10,000m³

片間町水源

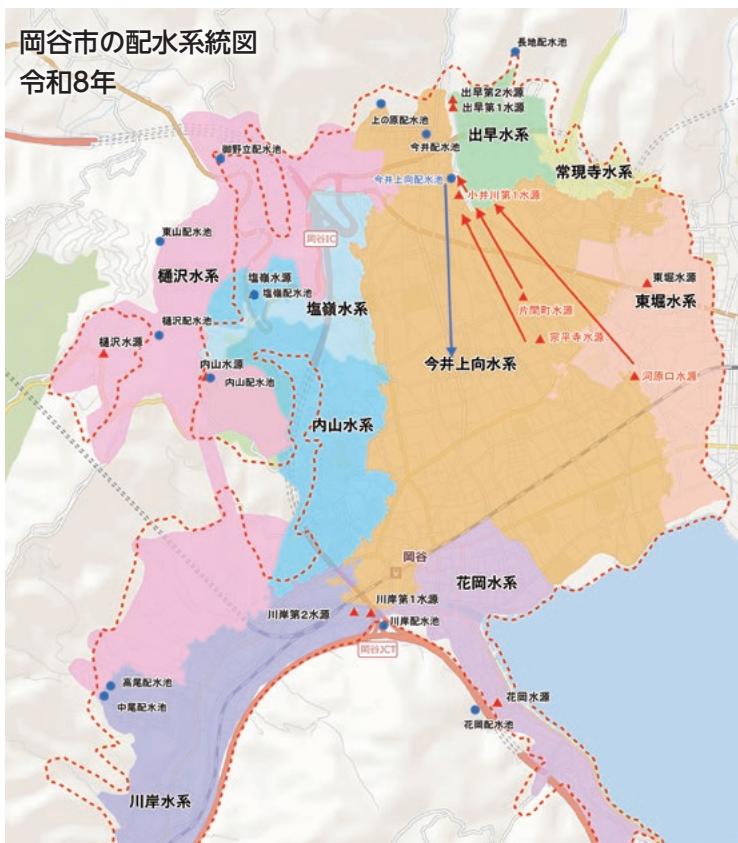
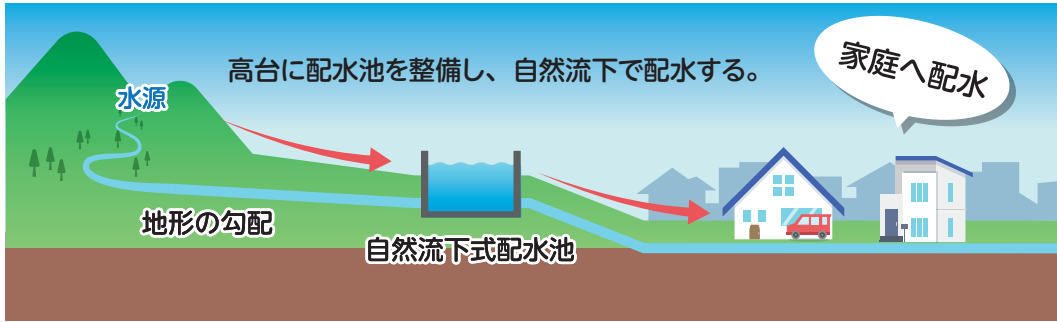


- 深井戸新規掘削、管理棟、浄水池を新築。
 - 井戸水と河原口水源からの原水を浄水処理し、今井上向配水池へ送水。
 - 旧片間町水源廃止。
- 令和6年(2024年)6月建設
耐震ステンレス構造
施設能力：2,800m³/日
浄水池：700m³

岡谷市の水道事業へのとり

〈再構築後の方式〉 **自然流下式** **NEW**

After



自然流下式

メリット

①経済的効率化

複数の水源から水を集め、高い場所にある配水池から水を配っています。これにより配水ポンプにかかる電力量等を節約し、効率的に市内に水を配ることが可能になります。

②停電対策

ポンプを使わないため、災害時等の電力が無い場合でも、配水池に集めた水を配ることができます。

③施設のスリム化

市内の水道施設を見直し、統合廃止すべき施設を見極めています。これにより、施設維持にかかる費用を抑えることができます。

凡例

▲ 水源	今井上向水系	塩嶺水系	東堀水系
● 配水池	内山水系	川岸水系	樋沢水系
虚線 給水区域	出早水系	常現寺水系	花岡水系
→ 水を配っている線	→ 水を配っている線	→ 水を配っている線	→ 水を配っている線
→ 水を配っている線	→ 水を配っている線	→ 水を配っている線	→ 水を配っている線

宗平寺水源



- 既存の宗平寺水源を改築。
- 深井戸はそのまま使用し、浄水池を改修。
- 配水設備を廃止し、今井上向配水池への送水施設として設備改良。

令和4年(2022年)12月建設
施設能力: 2,500m³/日
浄水池: 200m³

河原口水源



- 既存の河原口水源を改築。
- 浄水池、滅菌設備、配水設備を廃止し、片間町水源への送水施設として設備改良。

令和7年(2025年)2月建設
施設能力: 3,000m³/日

大規模地震に備え、主要な配水池の耐震診断や耐震補強工事などを継続して進めています。
併せて、岡谷市民病院や消防署、警察署などの公共施設や災害時に避難所となる小中学校など、災害時に重要拠点となる施設への管路の耐震化を行っています。

管路の耐震化

大きな地震などの災害が発生した場合、水道管が破損し大規模な断水被害が予想されます。このため、新しい水道管の布設時や、古くなった配水管の取り替え時に、地震に強い管へ順次交換しています。

また、地震などによる地盤沈下発生時に管が抜けにくくなるよう、可とう性（しなやかにたわむ性質）・伸縮性がある継手を使用しています。

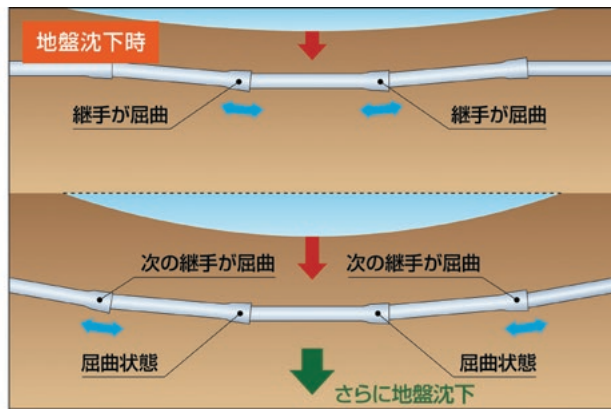


新しい水道管の布設工事のようす

可とう性・伸縮性がある継手を使用した管



つり上げることで、管のたわみを確認できます



地盤沈下時に管がたわみ、管が抜けにくい構造です

自家発電設備の設置

令和4年以降に更新された水源・配水池では、施設の耐震化を行う際に、停電時にも施設が稼働できるよう、自家発電設備を設置しています。

これにより、災害などによる停電時でも配水することが可能となります。



宗平寺水源の自家発電設備



既に廃止された岡谷配水池

古くなった配水池は、耐震性を備えたものに順次更新を行っています。

100年以上運用している施設もあるため、引き続き施設整備が必要となります。

今年度、この施設整備計画の見直しを予定しています。

2

水道施設の耐震化

3

老朽化した施設の更新

学ぶ

水道について学び、日々の生活に生かしませんか？

水道水にかかる費用

毎日、蛇口から安全安心な水道水を供給するためには、目に見えないコストがたくさんかかっています。

動力費

ポンプなど施設にかかる電気代

洗浄・消毒にかかる薬品代

薬品費



修繕費

水道管・施設の修繕代

検針などにかかる委託代

管理・保守費

水道事業の大切さ

水道事業は昭和27年に発足して以降、大正末期から昭和初期にかけて建設された各地域の水道を統合しながら水道水を供給してきました。

現在、水道施設の更新を順次進めています。老朽化した施設がまだ残っているため、引き続き整備が必要となります。

しかし、人口減少などに伴い給水収益が減少する一方で、エネルギー価格や物価高騰の影響を受け費用が増加していることから、このままでは事業資金が不足することが見込まれます。今後も安全安心な水道水の供給を行うため、水道料金改定にご理解ご協力をお願いします。



水道課 宮坂

岡谷市の水道水ができるまで



YouTube動画にて、岡谷市の水道水の生成過程を紹介しています。

岡谷市職員出前講座

水道課の事業内容について、水道課の職員が出向いてお話をします。



- 「水道水ができるまで」
(水道水の生成過程の紹介) … 約60分
- 「おかやの水道のいま、これから」
(安全・安心な水道の取組の紹介) … 約45分

日時 通年の月～金曜日 午前10時～午後9時
対象 市内に在住・在勤・在学の人で構成されるグループ(少人数可)

費用 講師派遣料は無料です。会場の利用に必要な経費などは申し込みのみ皆さんの負担になります。

問合せ 岡谷市教育委員会 生涯学習課(カルチャーセンター)
☎24-8404 FAX.24-8442
E-mail: shogai@city.okaya.lg.jp

上下水道料金の減免を行います

国で行っている物価高騰対策により、岡谷市でも上下水道料金の減免を行います。

- 時期** 6月、7月請求分
対象 市内全世帯(一部の公共施設を除く)
手続き 不要
金額 2か月分の基本料金を減免
※国の重点支援地方交付金を活用します。

問合せ ● 水道課 (内線1411・1422)